



都立山崎高校の自衛隊インターンシップ



東京地本町田募集案内所（所長 高橋3海佐）は、平成30年11月7日（水）から9日（金）の間、都立山崎高校の学生に対するインターンシップを実施した。

1日目は、空自府中基地において航空気象群の概要説明を受けた後、消防班で実際に消防服を着用して消火ホースの展張・操法を経験した。また、警備班では防弾チョッキ、鉄帽及び模擬小銃を装着した小運動を体験、衛生小隊では患者搬送訓練を見学し、実際の行動に沿った訓練を目的の当たりにしたことで、「任務達成のために厳しい訓練が必要であることを痛感した」との感想が聞かれた。

2日目は、朝霞駐屯地の自衛隊体育学校において概要説明を受けた後、レスリング、重量あげ、ボクシング及びフエニング等の訓練を見学した。オリンピック記念館では、歴代の体育学校の選手達が獲得したメダルを首にかけるとともに、元体育学校長である三宅義信氏がメキシコオリンピックで金メダルを獲得した際に持ち上げた重量150kgのバーベルに触れ、その重さに驚愕した様子であった。

3日目は、高尾山で登山を行った。あいにくの雨の中で登山となったが、参加者は同行した所員らと互いに声をかけ、励まし合いながら歩き、全員が元氣よく完歩した。

町田募集事務所は、より多くの学生等に防衛省・自衛隊の活動について理解を深めてもらえるよう、今後も様々なイベントの場を活用し広報活動を実施していくとしている。

小金井公園防災フェスタにて広報活動を実施



東京地本西東京地域事務所（所長 長谷川3陸尉）は、平成30年11月25日（日）、小金井公園において開催された「小金井公園防災フェスタ2018」に広報ブースを開設した。

「小金井公園防災フェスタ」は、公益財団法人東京都公園協会小金井公園サービセンターが主催する防災フェスタであり、武蔵野市・小金井市・小平市・西東京市等が協力し合同訓練を実施後、防災フェスタに移行するという参加型の防災イベントである。

西東京地域事務所は募集相談員等の協力を得て、陸・海・空自衛隊の災害派遣活動写真展示、制服等の試着及びトウチとの写真撮影コーナーを設けるとともに、第1後方支援隊衛生隊の支援を受けて炊事訓練や車両展示を実施し、来場者の関心を集めていた。

特に、自衛隊車両の展示は今回が初めてであり、展示時間が過ぎても撮影を希望する来場者で行列ができる程の人気であった。

来場者からは「初めて自衛隊の車両を間近で見ました。なかなか見る機会が無いので、来て良かった」「自衛官の生の声を聞くことにより自衛隊を身近に感じることが出来た」「制服を試着することにより自衛隊に興味を持った」等、防衛省・自衛隊への関心を持つきっかけになったとの声が多数聞かれた。

西東京地域事務所は、今後も様々なイベントへの参加及び支援を実施することにより、より多くの方に自衛隊への理解と魅力を深めてもらえるよう広報活動を実施していくとしている。